

セシ

人馬現況

歩二五〇聯隊本部

将	枝	下士官	兵	計	乘馬	輓馬	馱馬	計	備考
八	九	七六	九三	二				二	

二月八日  
晴大  
出陣  
敵交戦  
到ル

一、旅團命令ニ依リ聯隊ハ午前四時三十分旅團司令部位置ニ前進上黄  
野附近ニ別紙要図ノ如ク集結ス

一、歩二五〇作命第 號

步兵第百五十聯隊命令

二月八日午前四時  
於中西郷

一、歩兵第百十五聯隊ハ接列庵附近ニ於テ激戦中ナリ

二、聯隊ハ本台排既迄ニクリクテ渡河シ上黄野ノ旅團司令部位置

穩密ニ集結シ且所要ノ工事ヲサントス

三、歩兵砲隊(第四中隊)ニ分隊ヲ泚スハ午前五時三十分現在地ヲ出發シ午

前六時三十分迄ニ歩兵第百十五聯隊本部ニ至リ同聯隊ノ戦斗ニ協

スヘシ

此は残存の資料である

四、前部部隊ハ午前四時三十分出發概ネ左ノ順序ヲ以テ「クリーク」ヲ通過シ  
旅團司令部ノ位置ニ至ルヘシ

細部ハ現地ニ於テ指示ス

前進ニ際シテハ敵彈ノ間断ヲ巧ニ利用スルヲ要ス

4 5 6 ITL RME IMG 昭 9 10 古

先ノ戦列部隊ヲ前進セシメ各部隊ノ直接戦ニ關係ナキ馬込ガカ

等ハ前西郷ノ繃帯所ニ残置シ騎兵小隊長ノ指示ヲ受ケケムヘシ

五、第十二中隊（小隊長）ハ前西郷ニ於テ死傷者ノ處置完了次第ニ分隊ヲ

繃帯所ニ残置シ聯隊主力ニ追及スヘシ

六、余ハ午前六時三十分旅團司令部ノ位置ニ在リ

聯隊長 山本歩兵中佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

午前七時頃旅團ヲ追撃命令ヲ受領セルモ前面ノ敵ハ退却徴ナク

益々陣地ヲ堅固ニシ抵抗シアル状態ナルヲ以テ間モナク取止ノ命令ヲ受

領ス

三午後三時三十分電話ヲ以テ上海派遣軍ト当師團ノ戰鬥地境變更ヲ為  
旅團ハ本日没後兵カヲ集結シ南京南方兩下台東側地區ニ前進スギ  
命令ヲ受領シ第四中隊村上少尉ヲ長トセル將校ヲ候ヲ派遣シ前  
進路ノ偵察ヲナサレム、

一 歩五五作命令ヲ 號

一上海派遣軍ト師團トノ作戰地境ハ赤山ヨリ方山西側ニ經テ武定門附近ニ  
延長セラル 師團主力ハ既ニ將軍山及其ノ北側高地ノ線ニ進出セリ

旅團ハ本日夜暗ヲ利用シ前西郷一秣陵関一高家庄ヲ經テ兩下台東  
側地區ニ前進シ師團主力ノ戰鬥ニ策應ス

二聯隊ハ本日没ヲ利用シ速カニ前西郷ニ兵力ヲ集結シ爾後前西郷一  
張塘一蔡村一秣陵関道ヲ旅團主力ノ先頭ニ在リテ前進セントス

前西郷迄ノ前進順序ハ別ニ指示ス

三第四中隊(聯隊機關銃隊ノ一小隊ヲ附ス)ハ尖兵中隊トシテ前西郷ヲ

前記道ヲ先ノ秣陵尉ニ向テ前進スシ 本隊トノ距離ハ百歩トス  
四、酒余ノ諸隊ハ本隊トス

前西郷ヲ左ノ序列ヲ以テ前進スヘシ

1/10 P 5 ☆ 17L 171G 171G (1/2) 171G (1/2) 1A 1/9

五、第十中隊第十中隊ノ各一小隊ハ午右七時前西郷ニ至リ患者運搬ニ任スヘシ

六、余ハ午後七時三十分前西郷ニ在リ爾後本隊ノ先頭ニ在リテ行進ス

聯隊長 山本步兵中佐

下筆法 命令受領ヲ集メ口達筆記セシム

注意ハ夜行軍間連絡ヲ絶サルコト

ス、音響管燻煙火氣ノ使用ヲ嚴禁ス

四、右命令及注意ニ基キ各隊各兵ハ各々準備ニ着手シ或ハ足袋ヲ穿テ或ハ靴ニ布片又ハ藁ヲ纏フ等音響管防止ノ處置ヲ完全ニ日及ヲ待ツ日及シタレトモ上弦ノ月ハ沖天ニ懸リ埃ノ地ヲ照セリ午後七時聯隊ハ肅々

トシテ前進ヲ開始ス

歩兵第百十五聯隊方面ニ於テハ依然銃聲溢ラレトモ遠ク敵彈ノ損害ヲ受クル虞ナクシテ午後八時三十分前西郷ニ集結ヲ終リ同時頃旅団司令部亦聯隊ニ追及セリ 此頃道路偵察ニ派遣シタル村上將校亦候ヨリ左記要旨報告ニ接ス

一、敵ハ後梅村前梅村張塘西方台地ニ陣地ヲ占領シ増加ノ模様ナリ

二、道路ハ部隊ノ通過ニ支障ナキモ尤ニ歩兵砲分解搬送ヲ要スル箇所アリ

聯隊長ハ尖兵中隊長タル第百四中隊ヲシテ歩兵第百十五聯隊ノタテ道路標示

ヲナスヘク命ジ午後八時三十分前前進ヲ開始ス道路ノ景况不良ニシテ前進意

ノ如クナラザリレカ尖兵ノ注意ニ依リ概テ道路ヲ設ルニトナク午前進意

六、被ニ達ス

歩兵第百二十五旅團命令要旨 十一月八日午前

一、歩兵第百二十五聯隊ハ本日未明迄ニ現旅団司令部ノ位置ニ其兵力

ヲ集結スヘシ

歩兵第五十聯隊歩兵砲隊ハ未明ニ歩兵第五聯隊後方ニ陣地ヲ  
占領シ同隊ノ攻撃ニ直接協力スヘシ

射撃ニ関シテハ同聯隊長ト密ニ連絡スルヲ要ス

旅團命令受旨 十一月八日午前七時十分  
於上黄野

一、旅團ハ南京南端兩下台ニ於テル 師團主力ノ戦ヲ直接参加セテ大

二、行軍序列

歩兵第五十五聯隊ハ追撃隊

爾余ハ旅團司令部歩兵第五十聯隊ノ順序ニ旅團ノ進路ヲ前進

衛生隊ハ歩兵第五十聯隊後尾ヲ續行

人馬現況 歩五〇聯隊本部

將	校	下士官	兵	計	乘馬	輓馬	駄馬	計	備考
八	九	七六	九三	二				二	

一、高化鎮附近ノ戦鬪

一、戦鬪日時

自十二月六日午前五時三十分  
至十二月八日午後七時

二、彼状ノ兵力

(一) 友軍

聯隊本部、第四中隊、聯隊機關銃隊、第一機關銃隊(少隊  
欠) 歩兵砲隊ノ半部、第三大隊(第一中隊欠)

(二) 敵軍

(イ) 高化鎮東側及南側

重火器ヲ有スル歩兵約一大隊 逐次増加シテ二大隊トスル

(ロ) 接引庵上黄壘杜紅山附近

重火器ヲ有スル歩兵約一大隊 逐次増加シテ二大隊トスル

三、友軍ノ損害

戦死 六名(將校二)

第十一中隊小隊長 歩兵少尉

吉澤

衛

昭三、三三、七、前、百、一、〇、  
高化鎮北方ニテ戦死

戦傷 一四名

四、本戦ニ於ケル勲功者ノ事績

第三大隊長 歩兵小佐

大塚

宏

右者昭和十二年十二月九日旅團カ後西郷ヨリ秣陵関ニ轉進シタメ夜行軍ニ依リ  
 急行中午前二時戦六夜ノ中約七十米ノコリーノニ架セラレタル橋梁完全ニ破壊セ  
 レアルヲ知ルヤ所任ノ材料ヲ蒐集シテ修繕ヲ迅速ニ完成スニ張公渡ノ橋梁ヲ修  
 理シテ旅團ノ南京會戰參與ノ機ヲ失セサラシメ功績ハ特ニ顯著ナルモノニシテ殊  
 勲乙ニ該当スルモノト認ム

歩兵第百五十聯隊 第十一中隊

右部隊ハ昭和十二年十二月六日候家巷ヨリ湖熟鎮ニ至ル間尖兵中隊トシテ  
 前進中午前二時三十分湖熟鎮南側ニ於テ掩蓋ヲ有スル堅固ナル既設陣地ニ  
 據レル敵ニ対シ勇敢機敏且適切ニ攻撃シ之ヲ撃退シ旅團主力ノ前進ヲ容易  
 ナラシメタルハ勲功特ニ顯著ニシテ殊勲乙ニ該当スルモノト認ム

五、武器彈藥損耗表

小銃彈藥	身彈藥	附 彈藥	九式14彈藥	平射14彈藥
二、五〇〇	二、六六四	四、四九七	四〇	四五

六、鹵獲表



十一月廿日  
晴天  
戴大渡  
永慶庵  
至

一、午前二時夜行軍ヲ以テ戴大渡ニ達ス

戴大渡至レハ巾約七十米ノクリクニ架セラレタル高約十五米ノ橋礎ヨリ完全ニ

破壊セラレアリ土民ニ亂ス又附近一帯ノ舟代ハ南京ニ微發セラレ皆無キト答テ

依テ現在地附近ニ大休止ヲナシ其間極力舟代其他渡河材料蒐集又上下者

ノ橋梁ノ搜索ニ努メシムルト共ニ後橋ヲ架設スルニ決シ之ガ指揮官ヲ第ニ

大隊長ニ命シ旅團ヲ通譯一名ヲ配屬セラル

諸介候亦土民ノ言ノ如ク橋梁舟代ナキトテ報告シ來ル

第ニ大隊長ハ部下中隊ヲ所要ノ幹部及兵ヲ使役シ更ニ土民ヲ以テ午前七時

作業ニ着手シ概ネ車馬ヲ通スル綫式架橋ヲ午前十時完了セリ

次ニ張公渡ニ破壊セラレアルヲ知リ所要ノ幹部以下カ先遣シ補修セシメテ

兵第百十五聯隊ヲ架橋援助部隊來リシ之ヲ煩ステ下カ既ニ完了シ午右

將校	銃	銃	彈	備	考
二	四〇	三五	一、〇〇〇	一、停盾ハ射殺ス 二、戦利用ハ焼却又ハクリクニ投棄ス	

一時張公嶽出發午後三時三分林陵関ニ到着シ大休止ノ後、林田命令ニ基キ歩兵  
 連百五聯隊長ハ歩兵第百十五聯隊ヲ併セ指揮シ其ノ集結位置タル水慶庵ニ到  
 リ露宮ス  
 一、水夜凛水ニ於テ指揮ヲ離レル第ニ大隊(第百五聯隊也)又歩兵砲隊主力帰後ス  
 露 營 命 令 十二月九日午後八時 於水慶庵東北  
 一、敵情ニ関シテハ既ニ諸官ノ知レル通り  
 林田ハ水慶庵東側地區ニ露宮ス  
 一、聯隊ハ水慶庵東北部ニ露宮セントス  
 各隊ハ別ニ示ス處ニヨリ露宮スヘシ  
 三、露宮日直將校 熊谷少尉  
 〓 察將校一ヲ歩兵砲隊ヨリ差出スヘシ  
 第九中隊ノ聯隊直轄トス  
 露宮衛兵トシテ第九中隊ヨリ半ケ小隊ヲ差出シ露宮日直將校ノ指示ヲ受ケル  
 四、警戒部隊トシテ左ノ由リ差出シ日直將校ノ指示ヲ受ケルヘシ

第四中隊 下士哨一 露营地東北端

第三大隊ハ永慶庵東端 (各々下士哨一)

第二大隊ハ永慶庵南端

五、給養ハ携帶口糧甲ヲ使用シ其ノ補充ハ現地調弄ニ勉ムヘシ

六、余ハ永慶庵東北部ニ在リ

露营地司令官 山本歩兵中佐

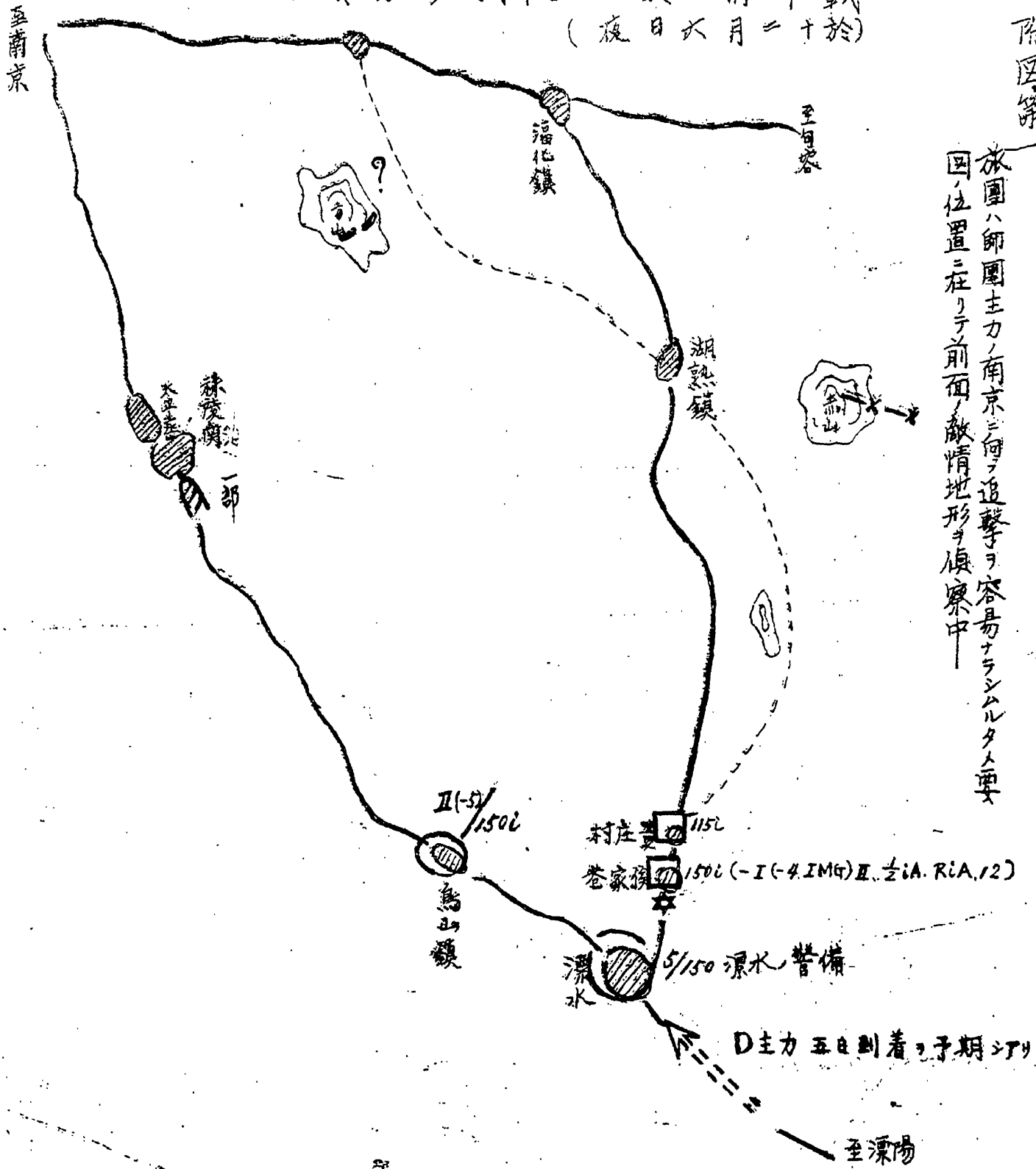
下達法各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

人馬現況 歩一五〇隊隊本部

將校	下士官	兵	計	乘馬	鞍馬	計	備考
八	九	七六	九三	二		二	

戰前於此被批形勢要圖  
(於十月六日夜)

附圖第

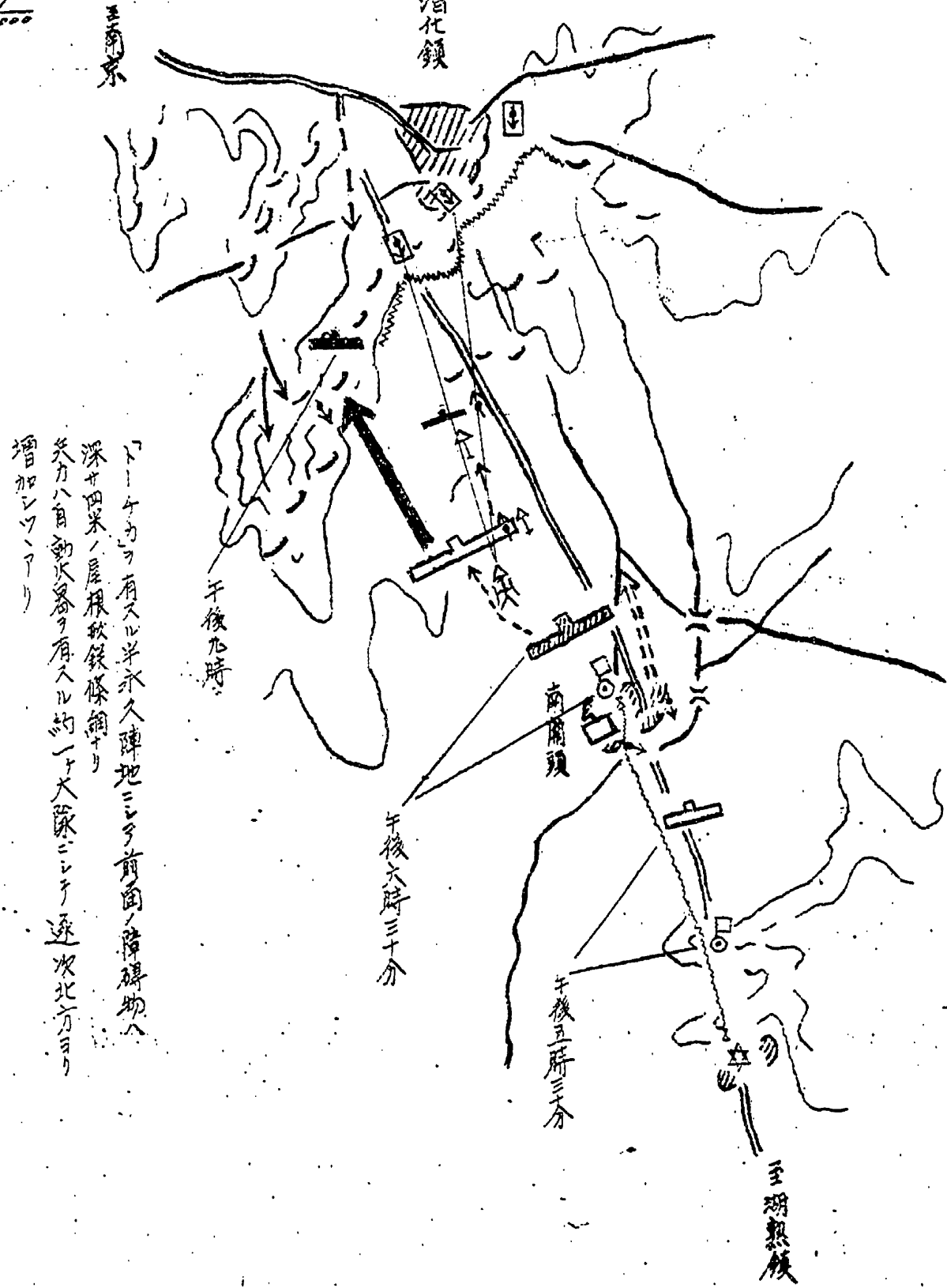


旅團ハ師團主力ノ南京ニ向テ追撃ヲ容易ナラシムルヲ要シ、因テ位置ニ在リテ前面ノ敵情地形ヲ偵察中

# 歩兵第五百聯隊 涇化鎮附近戰經過要圖

(於十一月六日午五時三十分)

附圖第二



ト一ヶ所の有スル永久陣地ニシテ首箇ノ障礙物ハ  
 深サ四米ノ屋根軟鉄條條網ナリ  
 矢力ハ自動火器ヲ有スル約一ト大隊ニシテ逐次北方ヨリ  
 増加シマアリ

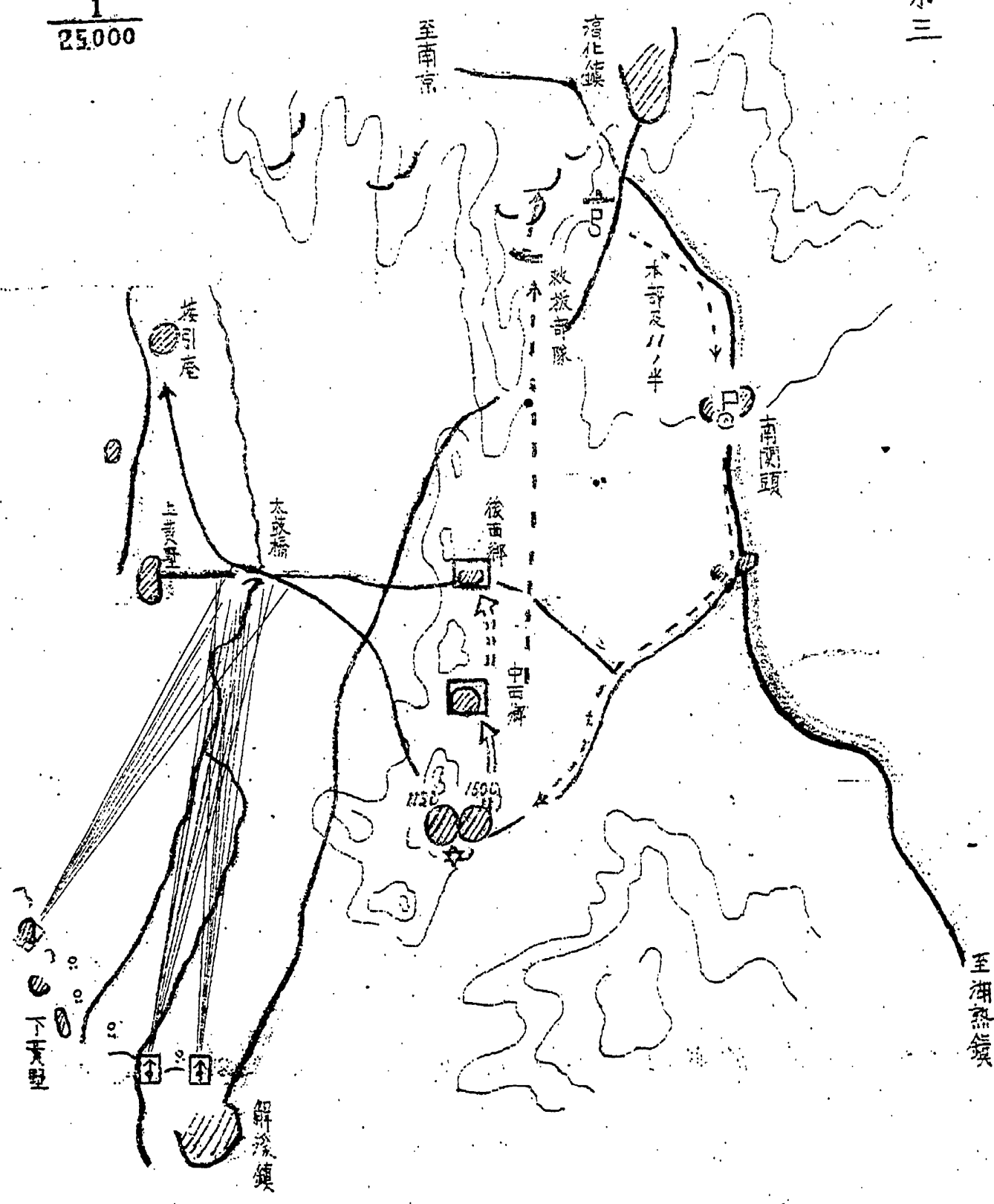
步兵第十五聯隊戰經過要圖

於二十七日午七時前  
於二十七日午七時後

0315

附圖第三

1  
25,000



聯隊長指揮下ノ將校職員表 昭和十二年十二月十日現在

聯隊長 中佐 山本 重憲													聯隊長	聯隊長
副官 少尉 森田 喜一													副官	副官
少尉 增澤 可也													少尉	少尉
少尉 瀧澤 壽													少尉	少尉
旗手 少尉 小山 長堯													旗手	旗手
通信班長 少尉 中條 寧富													通信班長	通信班長
近衛掛 少尉 小澤 庄三													近衛掛	近衛掛
情報 中尉 森下 武													情報	情報
中尉 関 將市													中尉	中尉
大隊長 少佐 大塚 宏													大隊長	大隊長
副官 少尉 宮原 喜郎													副官	副官
主計 少尉 前田 龜次郎													主計	主計
軍医 少尉 外山 輝昌													軍医	軍医
衛生部 少尉 村 昌實													衛生部	衛生部
軍医 少尉 金子 良治													軍医	軍医
軍医 少尉 一條 芳人													軍医	軍医
大隊長 少佐 堤 森 高植													大隊長	大隊長
副官 少尉 宮川 克憲													副官	副官
少尉 野口 禮五郎													少尉	少尉
少尉 近松 宗一													少尉	少尉
大隊長 少尉 北澤 隆之助													大隊長	大隊長
中尉 河原 信三													中尉	中尉
少尉 矢嶋 明彦													少尉	少尉
少尉 淺野 隆二													少尉	少尉
少尉 大平 友美													少尉	少尉
少尉 鈴木 萬平													少尉	少尉
少尉 濱 光治													少尉	少尉
少尉 諏訪 頼宜													少尉	少尉
少尉 村上 諭吉													少尉	少尉
少尉 伊藤 雄太郎													少尉	少尉
少尉 戸澤 修三													少尉	少尉
少尉 金井 宗助													少尉	少尉
少尉 草間 由男													少尉	少尉
少尉 天田 幸一郎													少尉	少尉
少尉 伊藤 八郎													少尉	少尉
少尉 竹内 宗一郎													少尉	少尉
少尉 出神 七郎													少尉	少尉
少尉 一之瀬 一郎													少尉	少尉
少尉 笠原 満壽治													少尉	少尉
少尉 林 憲一													少尉	少尉
少尉 池田 四郎													少尉	少尉
少尉 平出 五平													少尉	少尉
少尉 松澤 朝哲													少尉	少尉
少尉 田中文一郎													少尉	少尉
少尉 井出 春雄													少尉	少尉
少尉 鈴木 庄藏													少尉	少尉
少尉 新村 忠次													少尉	少尉
少尉 三澤 清彦													少尉	少尉
少尉 増田 元													少尉	少尉
少尉 小池 金													少尉	少尉
少尉 倉田 貫一													少尉	少尉
少尉 久保 龍一													少尉	少尉
少尉 伊藤 治平													少尉	少尉
少尉 中村 政太郎													少尉	少尉
少尉 旗 旗太郎													少尉	少尉
少尉 野田 清次													少尉	少尉
少尉 塚田 嘉重													少尉	少尉
少尉 深井 信英													少尉	少尉
少尉 小山 茂市													少尉	少尉
少尉 宮入 豊吉													少尉	少尉
少尉 上野 俊司													少尉	少尉
少尉 服部 留雄													少尉	少尉
少尉 長岡 吉一													少尉	少尉
少尉 青木 賢一													少尉	少尉
少尉 福島 穂作													少尉	少尉
少尉 窪田 芳三郎													少尉	少尉
少尉 杏向 永吉													少尉	少尉
少尉 中村 素雄													少尉	少尉
少尉 中野 明司													少尉	少尉

0316

山本部隊本部編成表  
十二月十日現在

職名	官等	氏名	職名	官等	氏名
聯隊長	歩兵少佐	山本重忠	大新掛長	歩兵伍長	代尾平吉
副官	歩兵少尉	増澤可也	旗護長	歩兵少尉	甲藤孝夫
副官	歩兵少尉	増澤壽	同	同	堀田二左
旗手	同	小山長亮	同	同	小川宗雄
同	同	小澤庄三	同	同	座間植夫
情報	歩兵少尉	森下武	同	同	坪田輝雄
同	同	関待市	傳令長	歩兵少尉	柳澤勝廣
書記	歩兵少尉	濱恒晴	傳令員	同	三井治水
書記	歩兵少尉	太田政治	同	同	高沢乾二
書記	歩兵少尉	野澤恒俊	同	同	余村春一
書記	同	三澤勘徳	同	同	増田光雄
書記	同	松田正隆	同	同	宮原新

0317



同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	傳令	職名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	步兵	官階
百頭	藤森	加藤	安藤	有賀	藤森	堀内	余田	小越	坂口	後藤	林	茂治	氏名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	職名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	官階
藤原	内山	五味	大月	上原	高松	金子	本田	平出	中川	西山	中條	富	氏名
和芳	光雄	英雄	煥吾	淑夫	武夫	高喜	清重	一雄	久一	德三郎	寧富	富	名

0318

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
平井	尾	守	伴	保	新	横	森	藤	中	上	北	平	平	平	平
幸雄	芦	屋	藤	水	口	山	泉	本	野	口	野	藤	藤	藤	藤
	秋	将	類	野	勝	茂	要	正	元	三	菊	秋	秋	秋	秋
	夫	恐	治	保		人		栄	筒	郎	男	八	八	八	八
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
小	柳	下	青	下	細	柳	坂	花	平	有	井	片	片	片	片
椋	澤	川	柳	平	川	澤	内	村	島	賀	岡	岡	岡	岡	岡
一	勝	光	恭	崇	幸	義	信	清	次	義	定	定	定	定	定
三		吉	太	一	半	盛	重	彦	市	一	忠	忠	忠	忠	忠

										職名	
				小倉長 上等兵	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	特務兵	同	同	同	同	同	官符級	
小山松太郎	山下良太郎	唐澤秀雄	森泉幸一郎	竹折永男	金森美雄	曾根原一策	小平重市	宮本系	伊藤保教	竹内元廣	氏名
						侍騎					職名
						金井	同	同	同	特務兵	官符級
											氏名
					計九十二	騎兵上等兵	藤原義盛	小池啓治	堀内定	野口俊信	

五月十日

曇天

本軍機密  
無根拠

南京方面  
戦闘

一、戰鬥經過別紙戰鬥詳報、如シ

一、五月十八日上海ニ上陸聯隊ノ指揮外ニアリシ第一大隊

隊ハ又ス<sup>加</sup>ハシ後聯隊ニ急進シ十日合第五中隊

ヲ令セ指揮シ杜橋及岔路口ノ戰鬥ヲ經テ本日午

后十一時頃聯隊ニ合セリ茲ニ亦テ聯隊ハ第二隊第一

十三中隊聯隊砲中隊ヲ欠キ悉ク軍旗ヲ下ニ集メ結

シ戦力一段ト充實シ志氣大ニテ振ラレ

人馬現況

將校	下士官	兵	計	乘馬	輕馬	駄馬	計
----	-----	---	---	----	----	----	---

八	九	七五	九二	二			二
---	---	----	----	---	--	--	---

通信手上等兵松澤英雄 左下腿負貫銃剣為入院

十月十日  
晴天

一 戦闘経過別紙戰鬥詳報、如シ

二 聯隊本部書記 野澤 恒俊

晴天

七 若者終始熱心ニ職務ニ従事アリシコト通シ

十月十日午後八時第一線ト聯隊本部間電話不通ト

ナリ連絡斷タルヤ命ヲ受テ敵彈雨注シ中ヲ

勇躍第一線ニ赴キ任務ヲ果シテテリ途ニ其

十一日午前八時敵ヲ小山寺虎東方ニ射シ地ニ

テ左胸部ニ敵彈ヲ受テ遂ニ壯烈ナル戰死ヲ

遂ゲタリ

人馬現況

將校 下士官 兵 計 馬 計

八 七 七五 九〇 二 二

御書大尉政忍 平病 死院

一 戦闘経過別紙戰鬥詳報、如シ

十月十日  
晴天

六 本日、人員移動左ノ如シ(聯隊本部)

戦死

情報班中尉 森下 武

於南京城西門外城上

傳令上等兵 安藤 英喜

於南京西門外城上

同 同 有賀 良治

於南京西門外城上

通信手同

宮本 至

於南京西門外城上

戦傷

副官 小尉 滝澤 壽

於南京西門外城上

旗手少尉 小山 長光

南京城雨花門城壁上  
右六時部員道鏡創

互斯掛少尉 小澤 庄三

南京城雨花門城壁上  
頭部 拾遺 鏡創

通信頭長少尉 中條 信一富

南京城雨花門城壁上  
北門部 擦過 鏡創

入院 旗護兵上等兵 樺田 輝雄

南京城雨花門南方 三千米  
右足部 京佐 創

入院 同 同 小川 宗雄

南京城雨花門城壁上  
西門部 全身 打撲 傷

入院 傳令一等兵 小越 正夫

南京城雨花門城壁上  
右足部 全身 打撲 傷

櫻井准尉以下本部小行李 六六名 復 敵 又

一連 櫻井 准尉 以下 本部 小行李 六六名 復 敵 又

人馬現況

將校	下官	兵	計	乘馬	鞍馬	駝馬	計
九	一〇	一三一	一五〇	一	三	一	七
							五〇

南京附近ノ戦闘

一、戰鬥開始及終了日時

自十二月十日午前十時五十分  
至十二月十日午後五時

一、本戰鬥ニ於ケル死傷數

一、戰死 五五 名 (内將校准士官四名全)

第二大隊長 步兵少佐 見森 高穂

凡情報掛 步兵中尉 木林 下武

一、小隊長 海兵少尉 村上 諭吉

步兵中尉 深井 信英

二、戰傷 一四 名 (内將校准士官一三名全)

入院 中隊長 步兵少尉 宮下 興宗  
 附近 兩大隊 部隊 破片 散見 山手

晴  
十二月三日

入院 小隊長 同 出浦七郎	入院 小隊長 長 渡邊 隆政 大尉	凡 副官 同 渡邊 壽	凡 旗手 同 小山 長 寛	凡 逆斯掛 同 小澤 庄三	凡 通信班 長 同 中條 寧富	入院 中隊長 長 步兵 大尉 矢島 明多	入院 小隊長 長 步兵 少尉 大平 友美	小隊長 同 倉田 貫一	小隊長 同 中村 治平	昨夜 末 南 京 城 雨 花 門 内 北 方 百 米 ノ 家 屋 附 近 ニ 在 リ	一 聯 隊 八 旅 團 命 令 ニ 基 キ 本 朝 末 明 ヲリ 城 内 ノ 掃 蕩 ヲ
附一三二一ノ右五〇〇ノ於燕子山寺院 附一三二一ノ右四〇〇ノ於燕子山寺院	附一三二一ノ左八〇〇ノ於燕子山寺院 附一三二一ノ左六〇〇ノ於燕子山寺院	附一三二一ノ左四〇〇ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左二〇〇ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左二〇〇ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左一〇〇ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左一〇〇ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左五〇ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左五〇ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左二〇ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左二〇ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左一〇ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左一〇ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左五ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左五ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左二ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左二ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左一ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左一ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左〇ノ於南京城雨花門	附一三二一ノ左〇ノ於南京城雨花門 附一三二一ノ左〇ノ於南京城雨花門

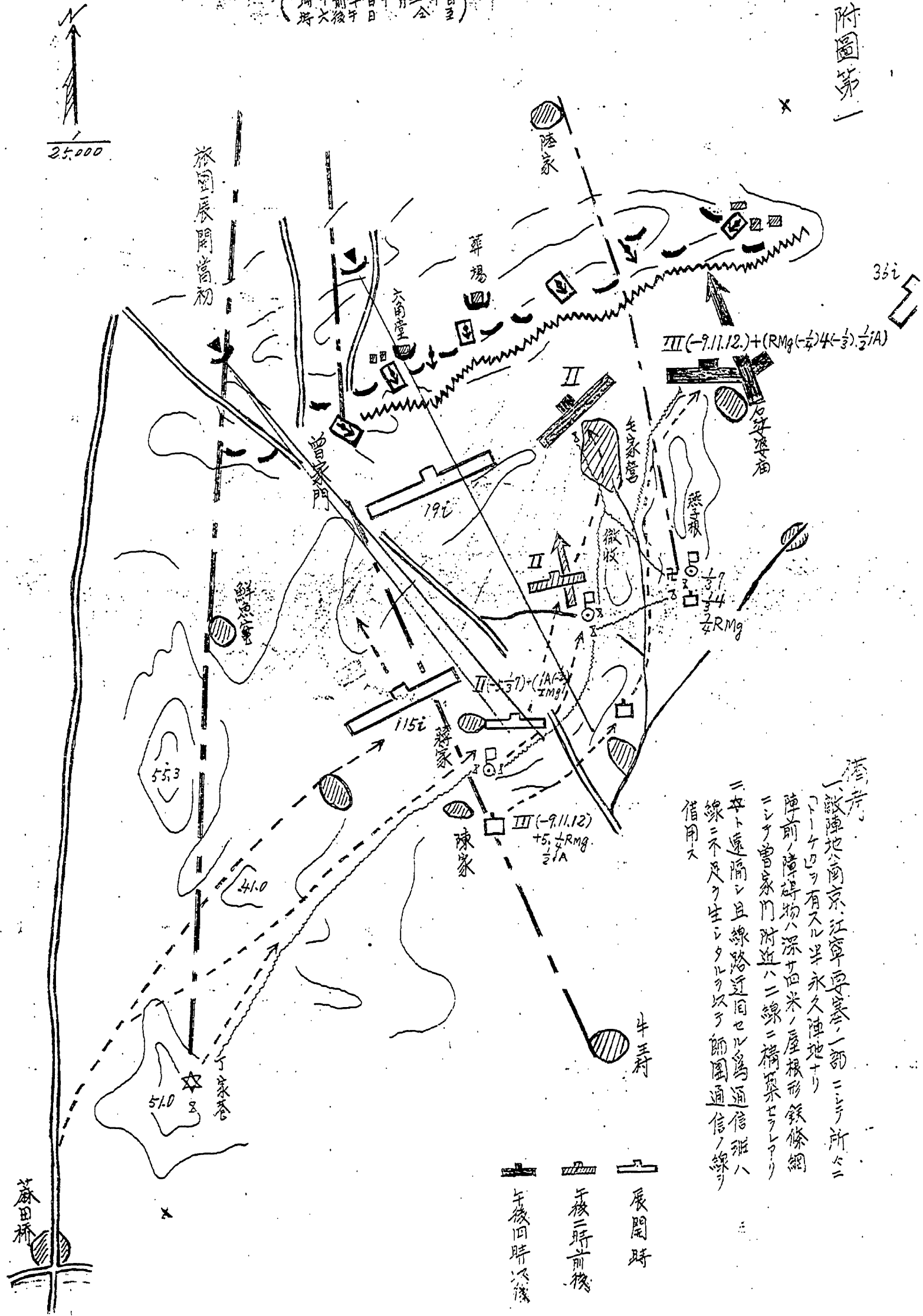


步兵第五百聯隊戰經要圖

(自二十一年十月十日午前十時  
至全日午後六時)

附圖第一

0326



一 敵陣地は南京江寧厚家一部ニシテ所々ニ  
 トーケロー有スル半永久陣地ナリ  
 陣前ノ障壁物ハ深サ四米ノ屋根形鉄條網  
 ニシテ曹家門附近ハ二線ニ構築セラレタリ  
 二 卒ト遠隔シ且線路近同セル爲通信班ハ  
 線ニ不及ク生シタルヲ以テ師團通信ノ線ヲ  
 信用ス

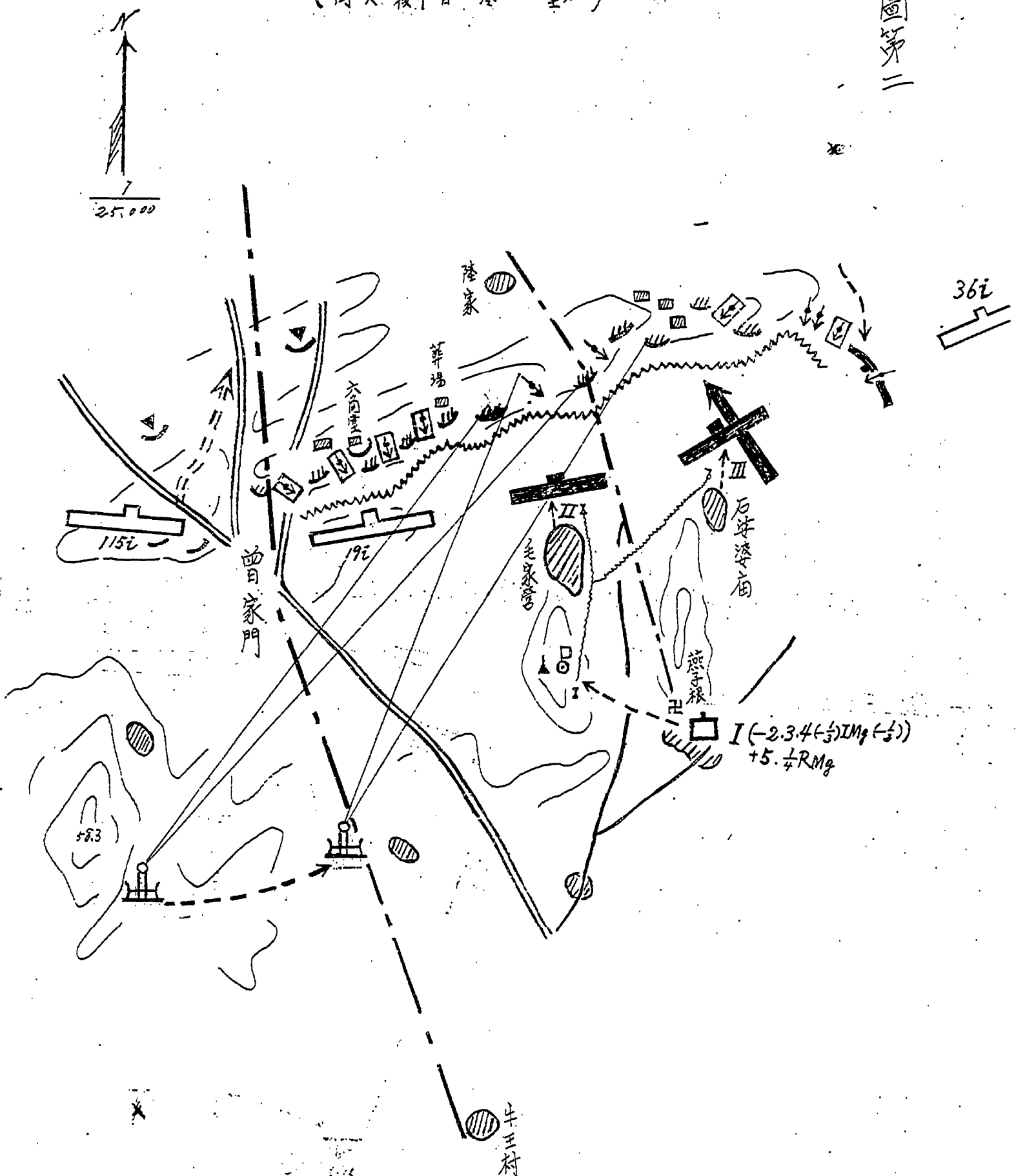
展開時  
 午後三時前後  
 午後四時以後

回文廻経湖以果湖平日第壹第

(時一十前午日一十月二十自至於)  
(時大後午日今至)

附圖第二

0327

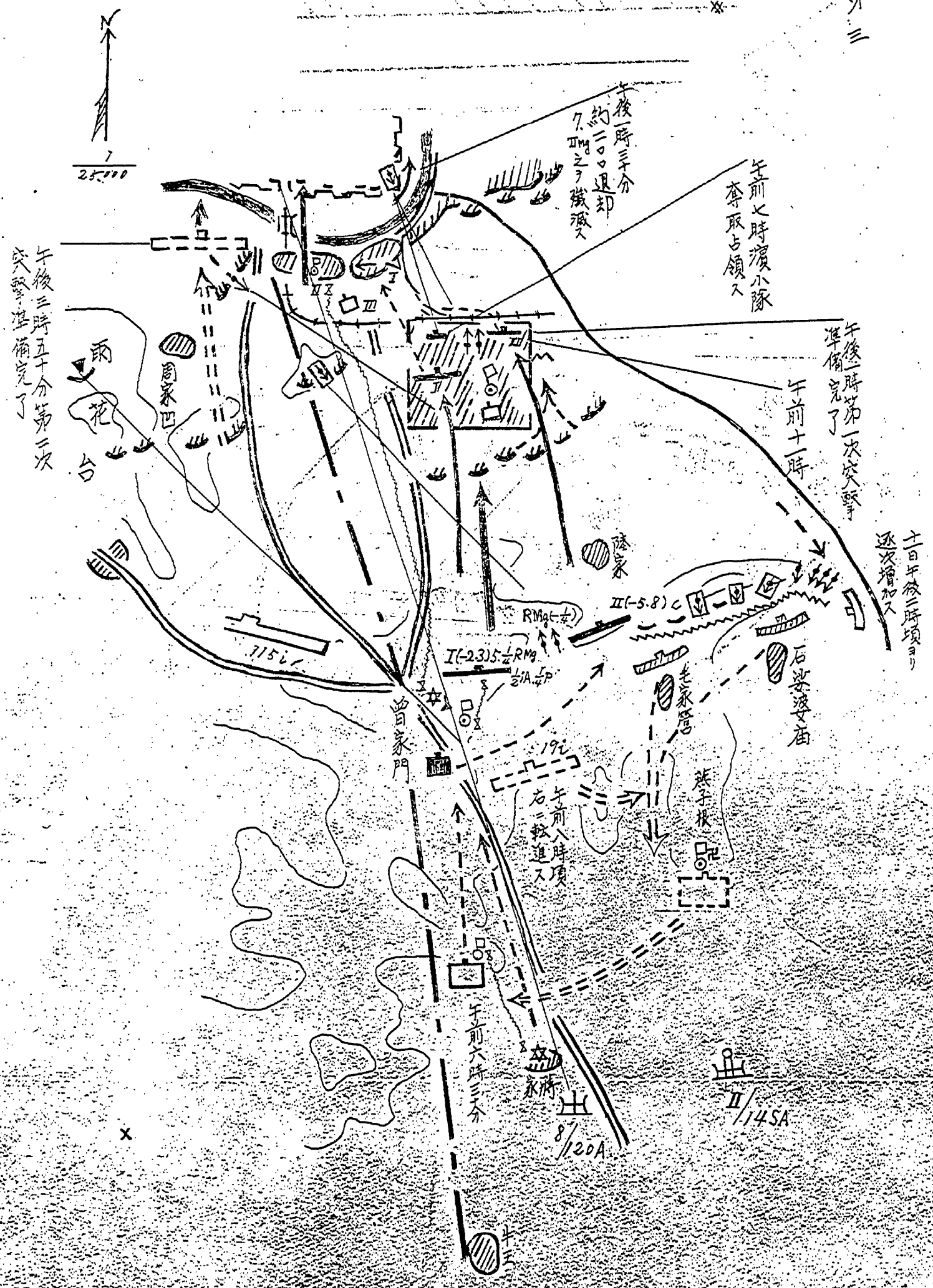


第六日第十五隊戰鬥經過圖

(於十月二十日午前一時至午後三時)  
 (於十月二十日午前一時至午後三時)

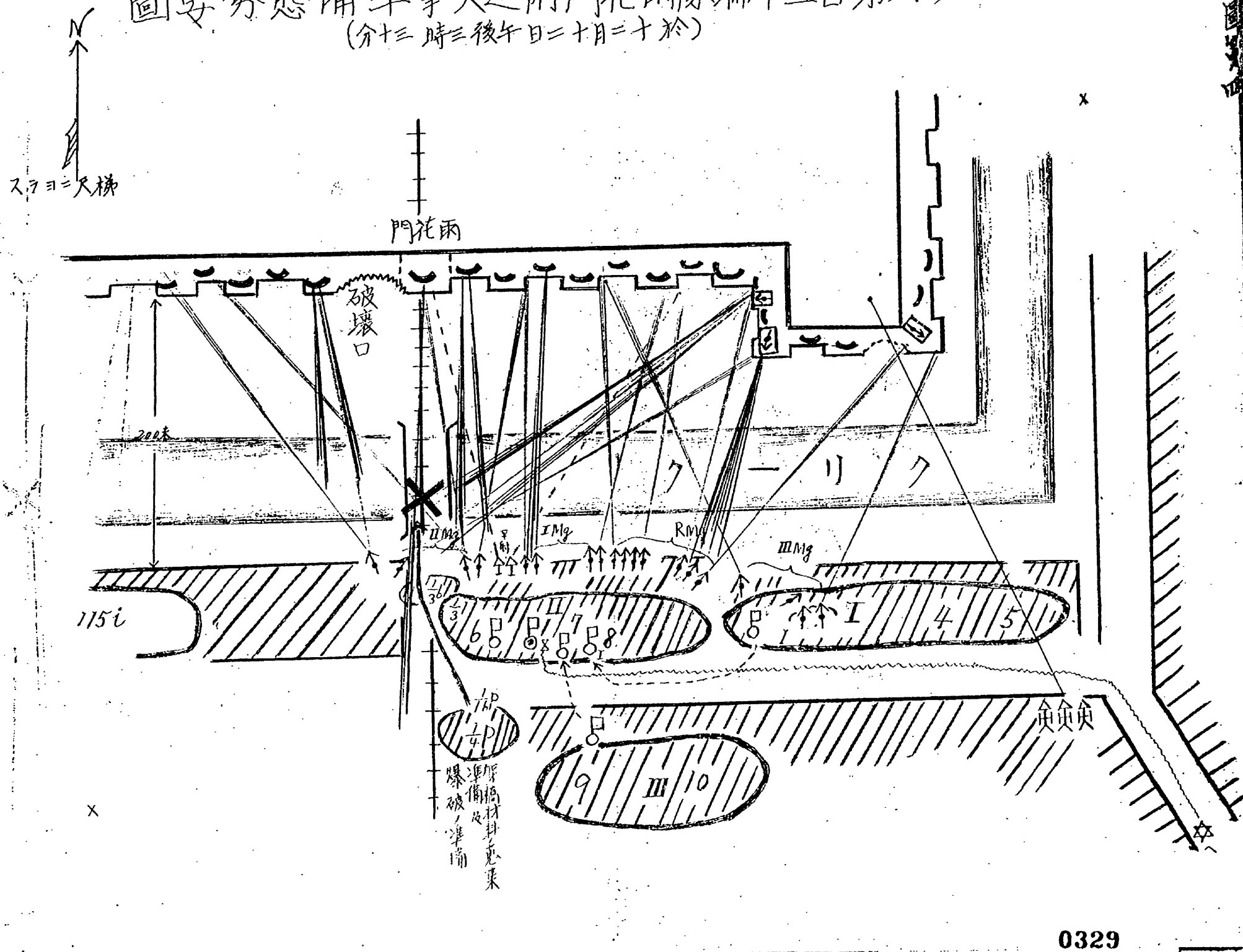
附圖第三

0328

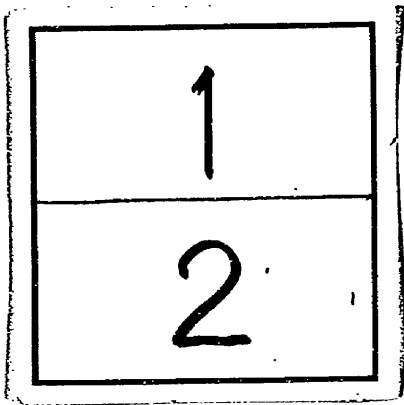


步兵第五聯隊雨花門附近突擊準備態勢要圖  
 (於十月二十日午後三時三十分)

備考  
 一、各重火器、家屋ヲ利用シ、銃眼ヲ穿テ、架橋及  
 爆破作業ノ掩護射撃ヲナス  
 二、配屬砲兵及協力砲兵ハ、曾家門附近ニテ、城壁破壊口ニ  
 對シ、掩護射撃ス

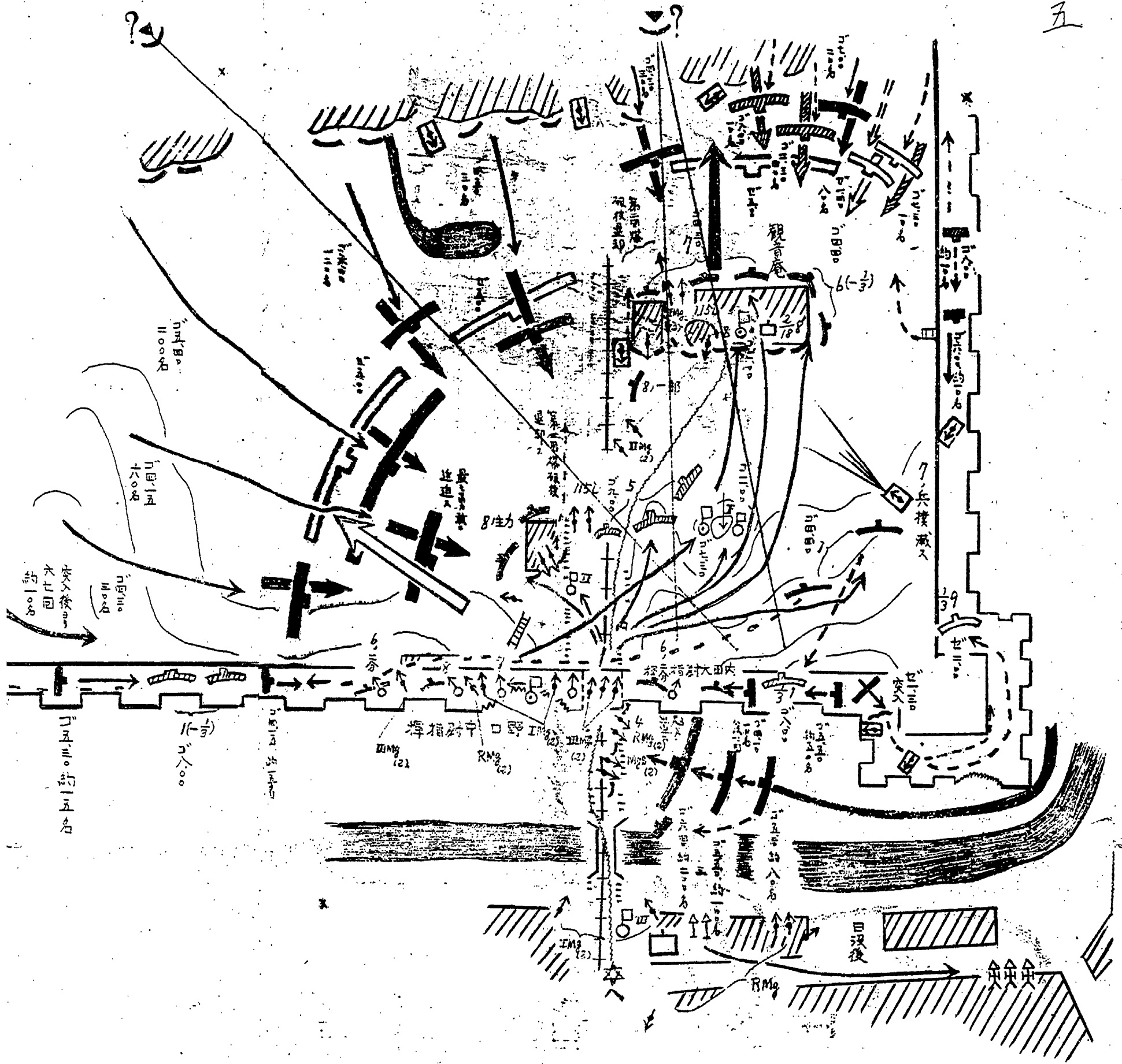


## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	歩兵第105連隊 雨花門付近 戦闘経過要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

圖要過經 闘戰近附門花雨隊聯十五百第兵步  
 (時四後午日三十皇月二十)

附圖第五

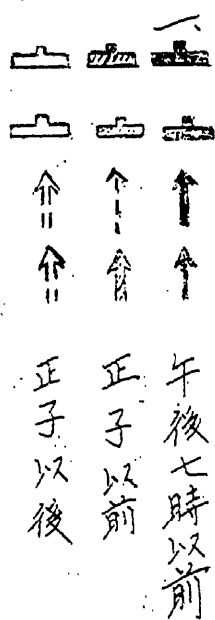


0330  
0331

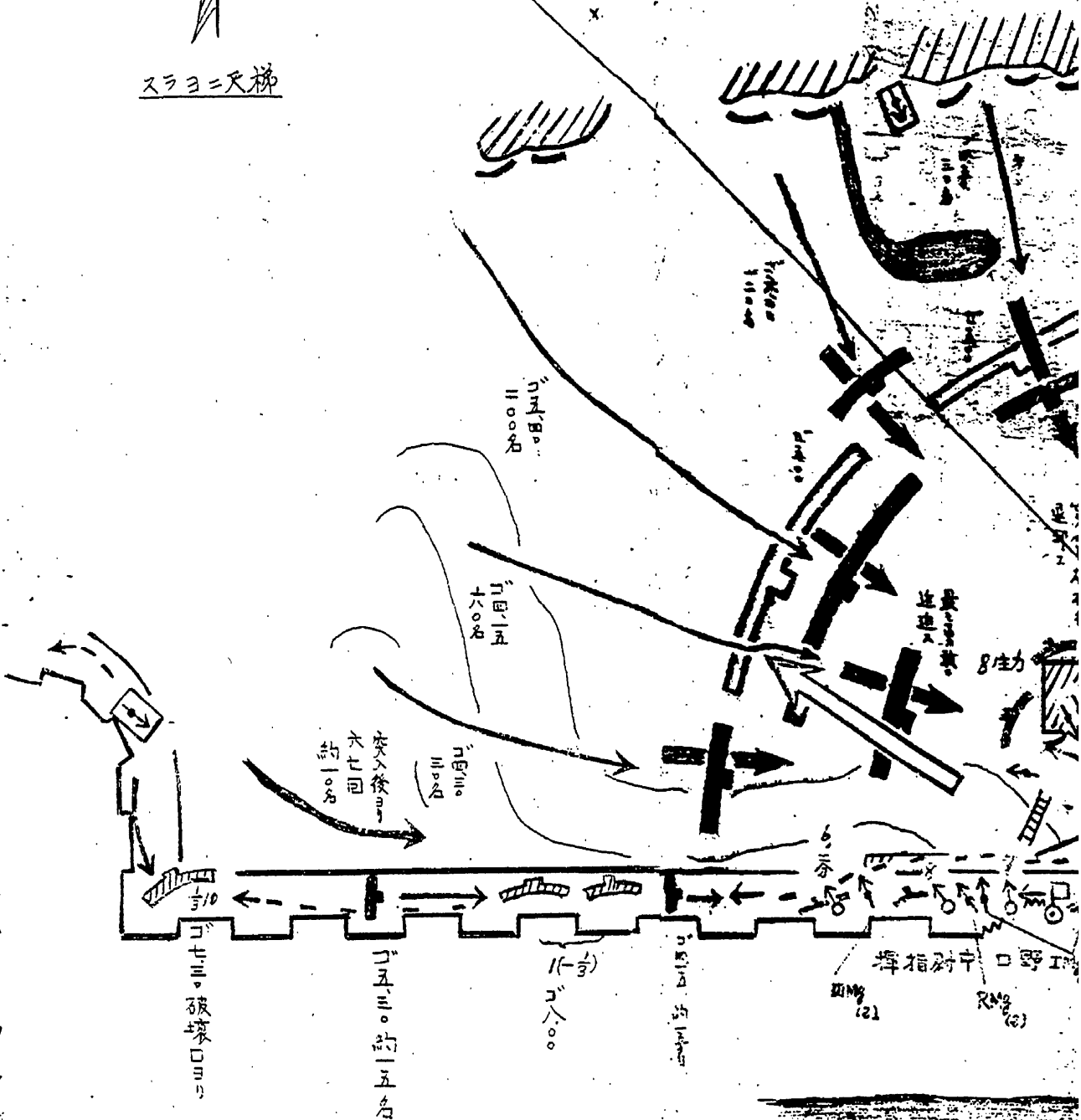
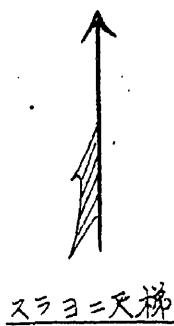
# 圖要過終鬪戰近附門花雨隊聯

(時四後午日二十皇月)

備考



一 午前五時、逆襲ハ最後ニシテ殆ト全正面ニ直リ其ノ矢力ハ五六百ト判断ス  
 二 逆襲ハ悉ク撃退セリ



## 突入及戦果擴張經過概要

- 一 午後三時五十分 架橋修理完了
- 二 午後三時五十分 第一自衛隊門突破
- 三 午後四時 五分 引續キ果森少佐以下四名突入
- 四 午後四時 七分 濱曹長日章榎ヲ手ニ破壊ロヲ攀登
- 五 午後四時 十五分 城壁ニ上リテ前進シ逆襲ヲ撃退
- 六 午後四時 十五分 第二自衛隊門突破
- 七 午後四時 十五分 引續キ 87, 61ノ部隊(班ノ部混淆)突入
- 八 午後四時 十五分 午後右翼ニ轉シ戦果擴張
- 九 午後四時 十五分 步兵第百十五聯隊ハ鐵道線路ヨリ左
- 十 午後四時 十五分 步兵第百十五聯隊ハ右ノ敵ヲ攻撃スル如ク協定ス
- 十一 午後四時 十五分 第二大隊長一軒屋ニテ敵彈ニ墮ル
- 十二 午後四時 十五分 八分後後續部隊進入セズ爲ニ步兵第百十五聯隊
- 十三 午後四時 十五分 二テ攻撃ス
- 十四 午後七時 十分 軍旗反聯隊本部城壁土ヲ城内ニ移動ス

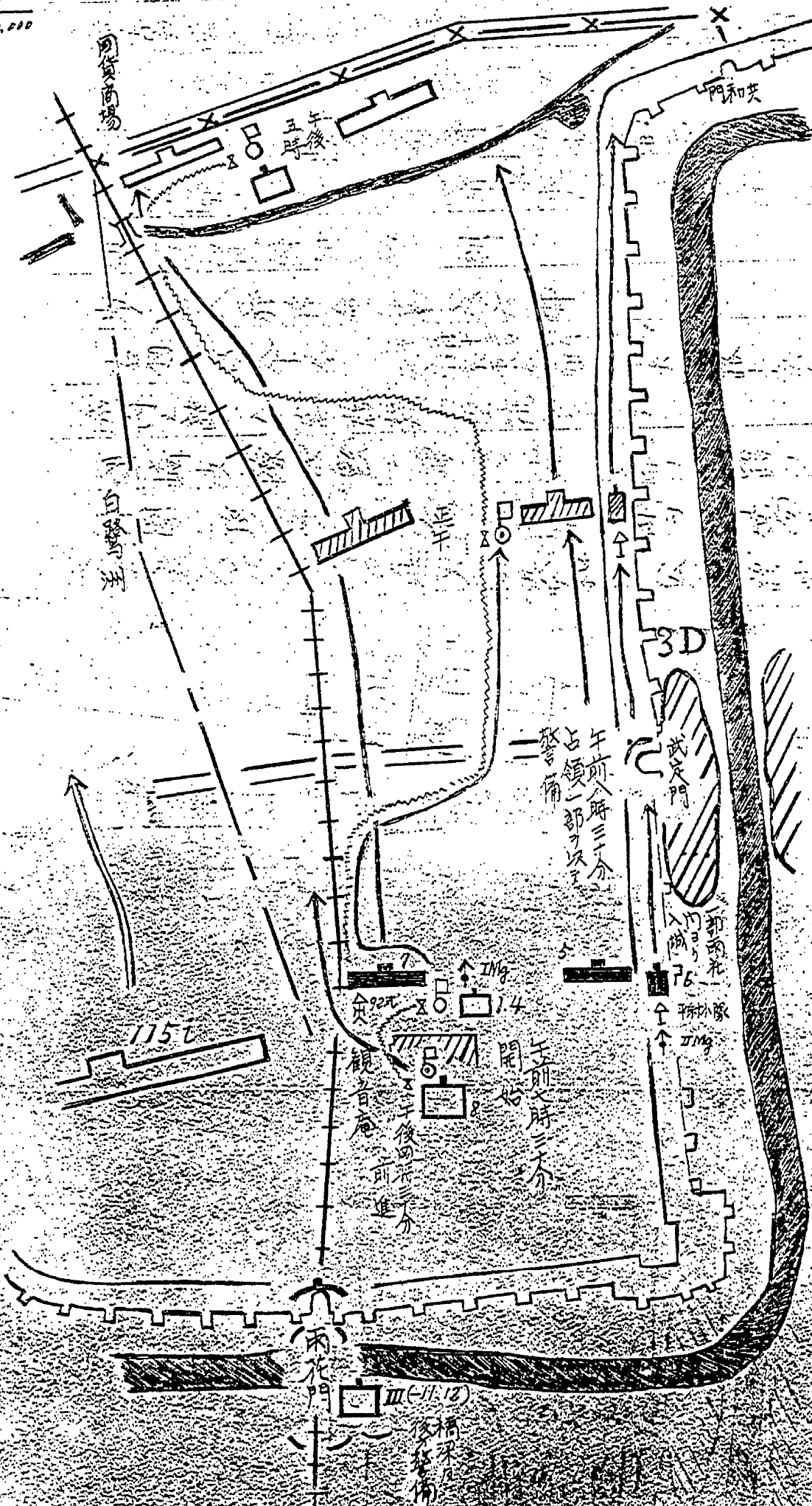


(日三十月二十年於)

軍遺浪海上

約10,000

備考  
 一掃蕩中敗殘兵二十數名ヲ発見射殺ス  
 二城内八家屋稠密ニアリ時間ヲ費セリ





一、掃蕩隊ハ至敵ナル數言戒ヲナシツ、城内ノ掃蕩ニ着手シ  
 二、午前八時武定門ヲ占領セリ  
 三、正午担任区域タル通済門ヲ東面ニ通スル道路ニ到ル  
 四、城内ノ掃蕩ヲ完了シ聯隊本部ハ更ニ南京市内東南  
 五、部國貨陣列館ニ到ル  
 六、歩一二八旅作命第六六號  
 七、右翼隊命令 十月十三日正午 於南京東南部七〇米道路ニ無名部落  
 八、城内ノ敵ハ今尚頑強ニ抵抗シカリ  
 九、國崎支隊ハ既ニ浦口ニ達シ敵ノ退路ヲ遮斷シカリ  
 十、師團ハ攻撃ヲ續行シ城内ノ敵ヲ掃蕩ス  
 十一、右翼隊ハ城内ニ進入シ共和門公園路中正路ノ

0333

線(含ム)以南ノ地区ヲ掃蕩セントス

三、第一線兩聯隊ハ全カヲ以テ城内ニ進入シカラユル手  
敵ヲ盡シテ敵ヲ殲滅スベシ之カ爲メ要スルハ城内ヲ

燒却シ特ニ殘敵ノ爲メ偽騎行爲ニ兼セサルヲ

要ス

掃蕩區域ノ境界ハ故ノ如シ之カ爲メ砲兵隊

戰車隊ハ城内ノ戰鬥ニ協力ス工兵聯隊ノ協

力區分故ノ如シ

四、歩兵兩聯隊ノ各々一中隊及獨立機關銃隊ハ

豫備トシ直チニ本道上ニ殘置シ余ノ指揮下

ニハラシムヘシ

五、余ハ灣リ現在地ニアリ後本道上ヲ城内ニ至ル

右翼隊長 奥少將

下達法

0334

各隊命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシメ

山本部隊本部編成表

職名	官等級	氏名	職名	官等級	氏名
聯隊長	歩兵中佐	山本重憲	書記補助	歩兵伍長	松田正隆
副官 <sup>甲</sup>	歩兵伍長	増澤可也	互斯掛	同	武尾平吉
副官	歩兵少尉	滝澤壽	獸医	獸医伍長	宮下福吉
旗手	同	小山長堯	蹄鉄工兵	獸医兵	鈴木喜作
互斯掛	同	小澤庄三	同	同	太津照夫
獸医	獸医尉	山崎照門	旗護兵	歩兵兵	伊藤孝夫
技術	砲兵准尉	櫻井米治	同	同	辰田三左右
情報	歩兵中尉	関將市	同	同	座間植夫
甲書記	歩兵曹長	濱恒晴	傳令長	同	柳沢勝廣
書記	歩兵軍曹	永井勘	傳令同	同	三井治水

同	同	同	同	同	同	同	同	同	傳	建路掛 書記	兩書記	職名	
步兵 一兵	同	同	同	同	同	同	同	同	步兵 一兵	步兵 伍長	同	官等級	
石瀨 麟一	清沢 常作	藤森 袈裟太	加藤 利勝	藤森 義國	坂田 敏	余田 光三	坂口 五郎	後藤 恒雄	林 茂治	宮原 衛	三澤 瑞穂	太田 政治	氏名
同	同	同	同	同	第一 有線 班	給養 掛	庶務 掛	通班 長	同	同	同	同	職名
步兵 一兵	步兵 一兵	同	步兵 一兵	步兵 一兵	步兵 一兵	同	同	步兵 伍長	同	同	同	同	官等級
大月 恒吾	上原 淑雄	高松 武夫	宮原 安雄	金子 高喜	本田 清重	平出 一雄	中川 久一	西山 徳三郎	中條 寧一富	樽田 光雄	今村 春一	高氏 乾二	氏名

0336

職名	官階級	氏名	職名	官階級	氏名
		小野忠八	<small>有線班</small>	歩兵上等兵	五味英雄
<small>有線班</small>	歩兵上等兵	平林秋人	同	同	内山光雄
同	歩兵上等兵	九野菊男	同	同	藤原和芳
<small>有線班</small>	歩兵上等兵	上田善四郎	<small>有線班</small>	歩兵上等兵	平井幸雄
同	同	中野元衛	同	歩兵上等兵	片岡竜義
同	同	藤本正栄	同	同	井岡定治
同	同	森泉要	<small>有線班</small>	歩兵上等兵	有賀義一
同	歩兵上等兵	横山茂人	<small>有線班</small>	同	平島太市
同	同	井口勝一	同	同	花村清秀
同	歩兵上等兵	保木野保	同	歩兵上等兵	堀内信重
<small>有線班</small>	同	伊藤類治	同	同	栢沢義盛
同	同	守屋博徳	同	同	細川幸平
同	同	尾芦数夫	同	歩兵上等兵	下平栄一

0337



職名	官等級	氏名	職名	官等級	氏名
特致兵	同	池田卯之助	山田次郎		
同	同	鎌月憲代一	内田義良		
同	同	竹折末男	遠藤俊		
職長	同	宮下元信	特務兵	同	小出忠次郎
同	同	平林進	同	同	伏見辰治
同	同	今水幸盛	同	同	宮崎正秋
同	同	小林次郎	同	同	堀田定
同	同	上條守一	同	同	田中義男
同	同	児原正	同	同	翠川廣一
同	同	木田寛平	同	同	城下太一
同	同	榊澤春人	同	同	高永孝次郎
同	同	竹村兵児	同	同	大川喜太郎
			同	同	北原重治

0339

職名	官等級	氏名	職名	官等級	氏名
同	同	福島金吾	同	同	雨宮鏡夫
同	同	石坂棟	同	同	金井信善松
同	同	生島周造	同	同	藤原義雄
同	同	久保田廣一	同	同	小林潤三
同	同	大橋栄三郎	同	同	小山松太郎
同	同	金井磯澄	同	同	手塚重盛
同	同	神野兼次郎	同	同	塚田今朝則
同	同	森泉幸一郎	同	同	小池啓治
同	同	柴宮久男	同	同	中村宇吉
同	同	熊谷忠男	同	同	飯島美善雄
同	同	越口定衛	同	同	木村保
同	同	湯本輝安	同	同	小松出雲
同	同	唐澤秀男	同	同	小塚辰男

0340



職名	官符級	氏名	職名	官符級	氏名
本日ノ人馬現況					
將校	下士官	計	乘馬	輕馬	駄馬
九	一一	一五一	一二	三一	七
退院者	歩兵軍曹	太田 政治	(十二月十日) 神經廟ノ爲メ燕子根ニテ入院		
如キ狀況ナリ					
於南京	南京城内内外ノ敵ノ射撃ヲ止メテ全ク敗走セルガ	于宿營	南京城内東南部市街ニ於テ宿營		

金井騎兵上等兵  
計一五石

持務兵 野口俊信

0341

白一日 余令

三月十四日十六時  
於南京城内

一 第四中隊

步兵上等兵

岩波 栄造

第九中隊

步兵上等兵

小林 太郎

右旗護兵 余又

二 第四中隊

步兵上等兵

花岡 賢太郎

第五中隊

步兵伍長

児島 漸

第八中隊

步兵一等兵

丸山 孝一

第九中隊

步兵上等兵

長沼 忠一

同

步兵一等兵

小林 徳夫

第十中隊

步兵伍長

木内 巳喜雄

同

步兵一等兵

森泉 友美

右聯隊本部 勤 余又

三 荷物監視要員トシテ第三大隊ヨリ左記人員  
 ヲ差出スヘシ 追テ當日午前八時迄ニ師團司令部ニ至リ高級副官ノ指示ヲ受ケシムヘシ  
 十二月十五日ヨリ十七日迄小銃一分隊服装ハ  
 軍装トス  
 四 聯隊本部 第三大隊 第三大隊ノ各行李ハ  
 左記彈藥ヲ明十五日午前中ニ積載スヘシ  
 聯隊本部 三年式機関銃 實包二箱  
 第三大隊 三八式小銃 實包一五箱  
 第三大隊 三年式機関銃 實包一五箱  
 第三大隊 三八式銃 實包一五箱  
 三年式機関銃 實包一五箱  
 五月明十五日午前八時ヨリ聯隊本部東方百五十米ノ  
 地点ニ於テ左ノ順序ニ依リ病馬ノ治療及

装障ヲ實施施ス各隊ハ病馬及要裝障馬共ニ

同時刻障鉄工兵全員ヲ差出スヘシ

午前八時ヨリ 第一大隊 聯隊機関銃隊

午後一時ヨリ 第三大隊 歩兵砲隊

歩三五〇作命第 辨

歩兵第百五十聯隊命令 十二月十四日午前

一聯隊八旅團命令ニ基キ掃蕩区域東南部

ニ舍営セントス 歩一三八旅團長 奥少將

舍営司令官 歩一五〇聯隊第一大隊長會田次佐

舍営日直將校 歩一五〇聯隊第一大隊長會田次佐

ニ巡警將校トシテ第 大隊ヨリ 中少尉一名ヲ年迄

四時旅團師令部ニ差出シ舍営司令官ノ指

示ヲ受シムヘシ

日本邦要志  
上若波等  
小林太  
佐里島  
木内巴  
上花園  
長沼忠  
小林徳  
丸山孝  
森宗又

三 含管衛兵トシテ第 大隊ヨリ將校ノ指揮スル

一小隊(刺入手一ツ含ム)ヲ午後三時迄ニ旅團節

令部ニ差出スヘシ

一聯隊本部ニ遣及シ在リニ大行李鞆重兵伍長以下

二十一名本日到達ニ聯隊本部ニ合ス

本日ノ人馬現況

將校	下士官	兵	計	乘馬	鞍馬	總馬	計
九	一四	一五六	一七九	一一	四五	七	六三

入院者 歩兵上等兵 五球 英雄 右肩胛骨挫傷

傳騎 金井騎兵上等兵 及 乘馬 二頭ハ

師團司令部ニ復返ス

南京城内ニ於テ宿營ス

二聯隊長 山本中佐 本日正午師團ノ團隊長

以上ノ會合ニ出席 午後二時帰還ス

		在南京	
同	同	百田 余令 一五九名 聯隊中隊長	三月十五日 在南京
同	同	步兵上等兵	下島 枝
同	同	征矢 正成	中村 源太郎
<p>三月午後三時溧水ニ敵約三千襲撃す同地警戒備ノ          歩兵第一五〇聯隊第十一中隊 若戦中トノ情          報アリ依テ聯隊長ハ直ニ第三大隊長ヲシテ歩          兵ニテ中隊機關銃一々中隊及平時一々小隊ヲ以          テ師團ノ自動貨車ヲ以テ之カ救援ニ向ハレタ          同夜第三大隊副官溧水ヨリ来リ溧水南四キ口          本道上附近ニ一部残敵現レ通行中ノ自動車          ヲ射撃第十中隊ハ直ニ之カ救援ニ向ヒタルモ          其時段ニ敵影ナク溧水ハ無事ナル由報告ス</p>			

0346

同	同	第一機関銃隊	同	同	同	同	同	同	第四中隊	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

高梨麟一	三井榮	中澤源一郎	三村善夫	内堀忠利	仁科宇一郎	中村甚藏	北澤幸久	高野繁實	倉田一惠	土屋袈裟一	中城利男	小池定治	松下猪一
------	-----	-------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------

0347





同	同	同	同	同	同	同	第八中隊	同	同	同	同	同	同	第七中隊
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	歩兵上等兵
大和	原田	甘利	吉江	羽山	塩澤	西田	小池	坂井	野津	和田	代田	木下	小林	祐一
治夫	明男	雄二	義雄	佐源次	幾造	良孝	喜佐好	久	志幸	数男	善藏	正一		

外  
野  
雄  
蔵

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	第九中隊	同	第三機関銃隊
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	歩兵上等兵
光桐 銚吉	伊藤 保雄	小島 修	丸山 麓	一條 祐次郎	小兎 銀次郎	中村 伊奈丈	丸山 清七	東 迪太郎	太田 静吾	倉田 源重	原田 清美	笠原 乙三	小山 清重	

0350



第十一中隊	歩兵上等兵	中澤 徳満
同	同	池田 登喜雄
同	同	北原 平幸
同	同	熊澤 春丈
同	同	半田 重利
第三機関銃隊	同	峰村 和吉
歩兵砲隊	同	土屋 金丈
同	同	小林 隆雄
同	同	小島 孝美
敢隊機関銃隊	同	原 榮
(十月五日附)		
一、左記ノ者輜重兵伍長ニ任ス		
第一大隊本部	輜重兵草矢	佐藤 芳人
第二大隊本部	同	依田 一助
第三大隊本部	同	王月五日附

0352

二四師作命申第百十四号

第百十四師團命令

十二月十五日午後四時  
南京

一、集團一部ヲ南京蕪湖附近ニ殘置シ主カヲ以テ速ニ杭州攻略ヲ  
準備ス

國崎支隊ハ浦口附近ヲ占領シアリ

第六師團ハ一部ヲ以テ蕪湖ヲ主カヲ以テ南京ヲ警備ス 第十八師團

ハ下邳安廣徳ノ域ニ前進シ杭州ニ向テ攻撃ヲ準備ス

第百一師團ハ湖州附近ニ集結シ杭州ニ向テ攻撃ヲ準備ス

二、師團ハ速ニ宜興及長興ニ前進シ爾後ノ行動ヲ準備セトス

三、各部隊ハ別紙行軍計畫表ニ基キ宜興及長興附近ニ向テ前進  
スヘシ

四、予ハ第百五梯團ト同行ス

師團長 末松中將

下達茲命令受領者ニ印刷セルモノヲ交付ス

別紙

自十二月十六日  
至十二月十五日 茅百十四師團行軍計畫表抄

第三梯團

長 奥少將 步兵茅百二十八旅團(大隊欠) 騎兵一小隊、師團通信隊無  
縮一分隊 衛生隊三分一、十二月十七日午前七時南京南門出發、  
秣陵関―溧水―溧陽―宜興道ヲ宜興ニ向ヒ前進、

茅五梯團

×城式及慰靈祭ニ参加スル部隊(師團司令部及通信隊無線一分隊  
ヲ含ム)十二月十九日南京南門出發、前記道路ヲ宜興長興ニ向ヒ  
前進、

歩三十八旅團作命茅六八梯

步兵茅百二十八旅團命令

十二月十五日午後六時  
於南京東南部

- 一、敵ノ敗殘兵ハ溧水ニ聚集シアルカ如シ
- 二、旅團ハ師團命令ニ基キ一部ヲ溧水ニ急派シ敵ヲ掃蕩セシトス

0354

三、歩兵第百五十聯隊第三大隊（三）中隊欠平射小隊聯隊模倣  
銃（小隊ヲ配屬）ハ連ニ漂水ニ向キ前進シ敵ヲ掃蕩スヘシ

漂水到着後ハ同地ニ在ル警備中隊ヲ併セ指揮スヘシ

漂水附近掃蕩後ハ漂水飛行場及東嶽ノ警備ニ任スヘシ

兵站自働車第大中隊ヲシテ協力セシメラル

四、予ハ南京東南部ニ在リ

旅團長 奥 少將

一、歩三八旅作命第六九號

歩兵第百三十八旅團命令

十一月十四日午後九時三十分  
於南京東南部

一、友軍ノ情况及師團ノ企圖ハ第二四師作命申第五四号ヲ如シ

二、旅團（歩兵第百十五聯隊ノ一大隊欠騎兵小隊師團通信隊無線一

分隊及衛生隊三分ノ一ヲ附ス）ハ第二四師作命申第五四号別

紙、行軍計畧表ニ基キ宜興ニ向ヒ前進セントス

三、歩兵第百十五聯隊ノ一大隊ハ第二四師作命申第五四号別紙行

軍計畧表第四梯団ニ在リテ大塚砲兵中佐ノ區署ヲ以テ前進スヘシ

四 各隊ハ十二月十七日午前九時ニテ分南門(中華門)ヲ先頭トシ南

門大街上ニ歩兵第百五十聯隊ノ一チ中隊(師一小隊共)騎兵一小

隊歩兵第百十五聯隊ノ一小隊(旅団司令部警備隊)旅団司

令部(師団通信隊無線一分隊ヲ含ム)歩兵第百五十聯隊ノ殘

余、歩兵第百十五聯隊、衛生隊(三分隊)ノ順序ニ集合スヘシ

出發ニ付キテハ別命ス

大行李ハ本隊ノ行軍序列ニ從ヒ衛生隊ノ直後ヲ前進スヘシ

其ノ警備ハ聯隊毎ニ一小部隊ヲ同行セシムヘシ

旅団司令部、行李ハ歩兵第百五十聯隊先頭大行李ト

同行スヘシ

五、長興以北ニ在ル現殘置部隊ノ原所屬ニ復歸ノ件及南京出

發ニ當リ携帶携行糧秣ニツイテハ第一四師<sup>師</sup>命申第<sup>六</sup>四<sup>号</sup>



別紙行軍計畧表備考ニ示シアルカ如シ

六余ハ十二月十七日午前十時二十分旅団司令部集合位置ニ在リ

同時余ノ計ニ命令受領者ヲ出スヘシ

旅團長 奥 少將

人馬現況

歩一五〇隊隊本部

九	將校	下士官	兵	計	乘馬	鞍馬	馱馬	計
一四					二	四五	七	六三
一五六								
一七九								

0357